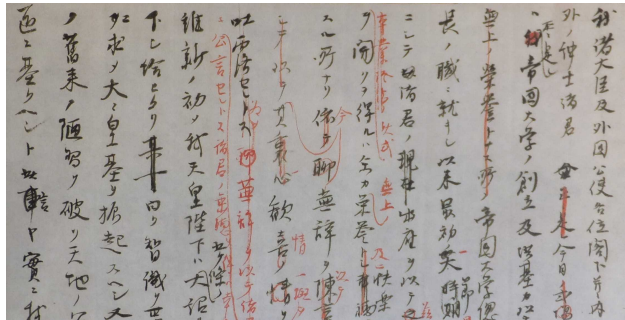




帝国大学 第1回卒業証書授与式 式辞草稿

祝ご卒業

帝国大学(現東京大学)初代総長式辞

越前市出身 渡辺洪基

ま
な
び
や

渡辺洪基 略歴

西暦	年号	年齢	できごと
1848	弘化4	1	越前府中(越前市)に生まれる。 父渡辺静庵は福井藩士で医師。
1864	元治元	17	江戸に出て、医塾順天堂(後の順天堂大学)で学ぶ。
1865	慶応元	18	慶応義塾に入り、福沢諭吉に学ぶ。
1867	慶応3	20	幕府の医学所に勤務。
1868	明治元	21	戊辰戦争中、師の松本良順とともに会津に行く。 米沢藩の要請を受け、英学塾をひらき英学指導にあたる。
1869	明治2	22	米沢藩を去り、東京に戻る。
1870	明治3	23	外務省に入る。
1871	明治4	24	岩倉具視を大使とする欧米への使節団の一員となる。
1873	明治6	26	オーストリア・イタリア公使館勤務。
1885	明治18	38	東京府知事となる。
1886	明治19	39	帝国大学(後の東京大学)初代総長となる。
1890	明治23	43	駐オーストリア特命全権公使となる。
1892	明治25	45	第2回衆議院議員総選挙に当選。
1897	明治30	50	貴族院議員に選ばれる。
1901	明治34	54	死去

(注) 年齢は数え年。

識を世界に求め、大に皇基(天皇が国を治める基礎)を振起すべし。又曰く、旧来の陋習(悪い行い)を破り、天地の公道に基づくべしと。(省略) 東京大学文書館所蔵

帝国大学(現東京大学)初代総長を務めた渡辺洪基は、第一回卒業式(明治19年7月10日)にあたって、さらに自分を高める努力を求めている。また、大学としては実業と理論の両方でリーダーとなる人材を育て、将来は卒業生

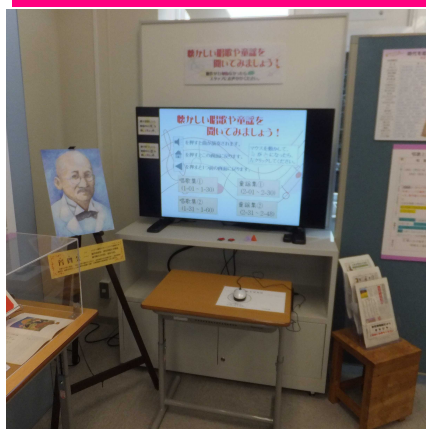


が社会の各分野で活躍し、質問の力によって国が治まることを希望していると述べています。

【式辞草稿】

我諸大臣及外国公使各位閣下並に内外の紳士諸君、今日は本々是れ帝国大学の創立及洪基が以て帝国大学総長の職に就きし以来最初の一大節目にして、諸君の出席を以て茲に大式を開くを得るは、余が無上榮譽及び快樂とする所なり。今蕪辞(粗末な言葉)を以て其歓情(喜びの気持ち)の一斑を公言せんとす。諸君の垂聴(注意して聴く)を得ば幸甚なり。維新の初め、我が天皇陛下は五ヶ条の大詔を下し給ひたり。曰く智(知)

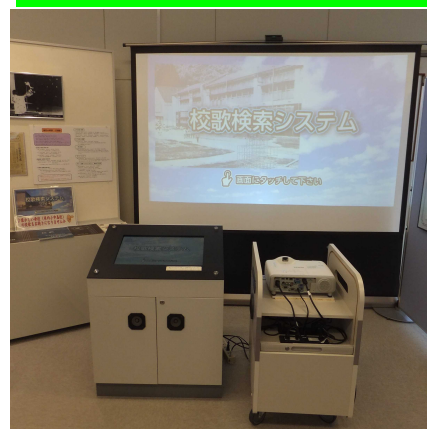
唱歌・童謡検索システム



特別展「唱歌と童謡」好評につき、ダイジェスト版を展示中！

好評でした「唱歌と童謡」特別展示の一部を、ダイジェスト版として継続展示することになりました。期間中に来館できなかった方はもちろん、来館してくださった方も、ぜひ博物館へ足をお運びください。懐かしい唱歌60曲、童謡48曲を視聴できる「唱歌・童謡検索システム」も展示しています。同世代の皆さんと一緒に歌いましょう。

校歌検索システム



卒業式や入学式で歌われる、懐かしい母校の校歌。教育博物館でも各年代層に人気のある「校歌検索システム」。

卒業式や入学式で歌われる、懐かしい母校の校歌。教育博物館でも各年代層に人気のある「校歌検索システム」。残念ながら、統廃合・休校で現在児童・生徒がいない学校についてはデータがありませんが、県内全ての小・中・高・特別支援(私立を含む)学校の校歌を聴くことができます。校外学習で訪れた中学生が、小学校の校歌を懐かしく歌ったり、公民館などの団体で研修後に大きな声で合唱したりする様子が良く見られます。